

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規着工準備箇所）

担当課：都市・地域整備局 街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名	近鉄名古屋線連続立体交差事業 (川原町駅付近)	事業区分	連続立体交差事業	事業主体	三重県
起終点	自：三重県四日市市滝川町 至：三重県四日市市陶栄町	延長	1 km		

事業概要！
本事業は近鉄名古屋線の川原町駅付近（1 km）を連続立体交差化し、踏切4箇所を除却するとともに道路交通の円滑化を図るものである。

事業の目的、必要性！
連続立体交差事業にあわせ、末永本郷土地区画整理事業により都市基盤を整備し、渋滞の解消と事故の防止を図るとともに、周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。

全体事業費	8.6億円	踏切交通遮断量	4万台時/日
費用便益比	B / C 1.5	総費用	9.9億円
		事業費	6.6億円
		維持管理費	0億円
		総便益	9.9億円
		走行時間短縮便益	9.5億円
		走行費用減少便益	3億円
		交通事故減少便益	1億円
		基準年	平成16年

事業の効果等！

- ・円滑なモビリティの確保（鉄道交差道路における踏切交通遮断量 10,000 台時/日以上 の踏切道の除却）
- ・都市の再生（土地区画整理等の沿道まちづくりとの連携有り）
- ・個性ある地域の形成（鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消）

など16項目に該当

関係する地方公共団体等の意見！
四日市市の総合計画に連続立体交差事業の推進が位置付けられているとともに、三重県および四日市市より早期実現の要望を受けている。（県市共 平成16年5月19日）

